

# 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

(東証プライム：2296)

## ニュージーランド食肉事業者Greenlea Group Limitedの取得 説明資料

※本資料は、2026年6月18日付公表内容の補足説明資料です。

2026年6月18日

## 01 案件概要

### 案件概要

- ニュージーランド子会社ANZCOを通じて同国Greenleaを買収
- ANZCOは世界有数の牛肉輸出国ニュージーランドの主力パッカーとして、米国・欧州・アジアへの動物性たんぱく質の供給能力を拡大

### 案件概要

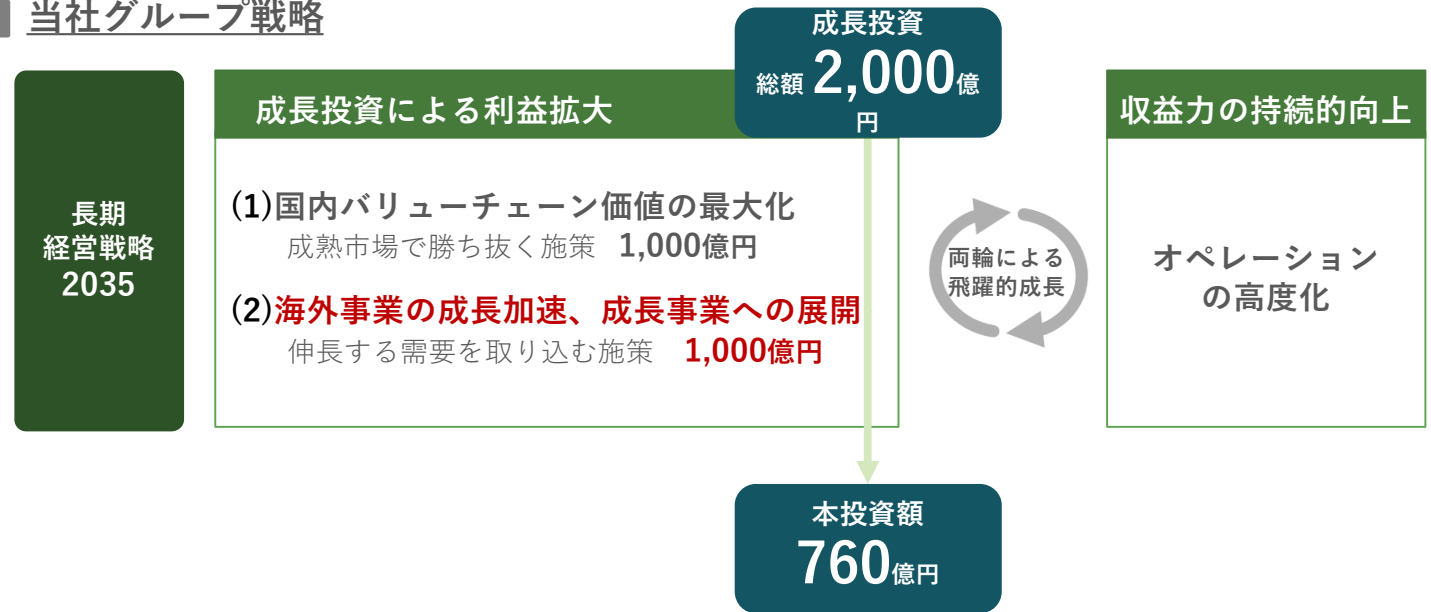
取得対象	在ニュージーランド食肉事業者 <b>Greenlea Group Limited</b> （以下「Greenlea」）の100%株式
売主	創業家一族
買主	<b>ANZCO Foods Limited</b> （以下「ANZCO」）
取得対価	800百万 ニュージーランドドル（約760億円）
牛処理頭数	年間24万頭（2工場）
業績	2025/9期：売上高 615百万 / 税前利益 59百万 ニュージーランドドル
スケジュール （予定）	2026年6-8月：ニュージーランド当局承認（商務委員会・海外投資局） 2026年8月末：取得完了
当社狙い	Greenlea買収によりANZCOは世界7位の牛肉輸出国ニュージーランドの主力パッカーとしてのポジションを強固にし、米国・欧州・アジアへの動物性たんぱく質の供給能力を拡大



## 当社グループ戦略

- 当社は「長期経営戦略2035」で「海外事業の成長加速」を掲げる
- 基礎食糧としての動物性たんぱく質の供給能力向上を基本方針とし、食肉事業を中心にグローバルに生産事業を拡大させる方針

### 当社グループ戦略



### 本件の狙い

#### 海外食肉需要の取り込み

- 国内市場が成熟度を増す中、当社グループの中長期的な成長を実現する為には、**伸長する海外需要の取り込み**が不可欠
- 上流畜産資源は寡占化が進み希少性が高まっており、**優良権益を獲得できる機会**は限定的

#### NZ事業の価値向上

- NZの得意とする**牧草牛の赤身肉**は生産適地が少なく、また低い生産コストによりインフレ耐性が高い
- ANZCOは調達・販売・製造で**Greenleaと多くのシナジー**が有り、これらの実現を通じてNZ事業の価値を飛躍的に向上

## Greenleaの優位性

- ニュージーランドは  
1) 安定した気候、2) 隣接する酪農産業からの生体供給、  
3) 厳格な防疫体制等を背景に、  
サステナブルな食肉生産が可能
- ニュージーランドは生体供給の  
季節変動により処理場に繁閑差  
が有る為、生体調達力が競争力  
に影響
- Greenleaはニュージーランドの  
酪農産業一等地の北島ワイカト  
地区に2工場を有し、輸出港への  
アクセスも良く、高い収益性を  
誇る

### ニュージーランドの優位性

気候	・ 豊富な降雨と肥沃な牧草地を有しており、 <b>干ばつ発生リスクが低い</b>
生体供給	・ 世界最大の乳製品輸出国であり、酪農産業から <b>経産牛・仔牛の安定供給</b> を受けられる
防疫	・ 島国としての物理的な隔離、政府の厳格な防疫管理により、 <b>BSE未発生かつ口蹄疫の清浄国</b>
サステナビリティ	・ 牛肉生産のGHG排出量は世界最低水準、在来森林は法律で厳格に管理されている

### Greenleaの優位性

立地	・ 国内酪農・畜産産業の一等地である北島ワイカト地区に工場を有し、 <b>生体調達に有利</b> ・ ニュージーランド最大の輸出港である <b>タウランガ港に好アクセス</b>
地域社会との関係性	・ 地域雇用を支えられ、社員の習熟度が高く安定操業可能 ・ 長期にわたる地域農家との強い結び付き
オペレーション	・ 牛肉のみ、輸出中心、自動化された生産プロセス

## シナジー

- ANZCOとGreenleaは、調達・販売・コスト最適化等で多くのシナジーがある

### ANZCOとGreenleaのシナジー

調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ANZCO北島工場は中南部で生体調達しており<b>Greenlea調達農家と補完性有</b></li> </ul>
販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ANZCOの米国・欧州等の海外拠点を通じて、Greenleaの<b>高品質な牛肉製品を拡販</b></li> <li>• ANZCO知見を活用し、<b>副産物を更に収益化</b></li> </ul>
コスト最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生産プロセスや物流費を最適化、共通業務を一元化</li> </ul>

### 処理場の所在地



### NZ北島における生体調達エリア

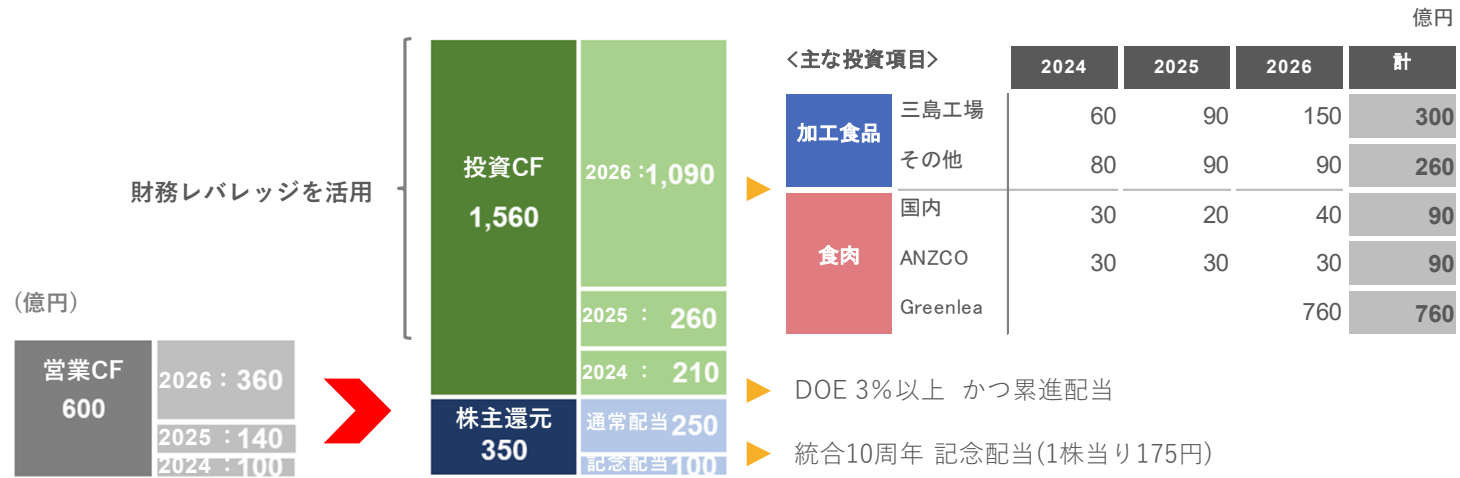


## 04 資本戦略

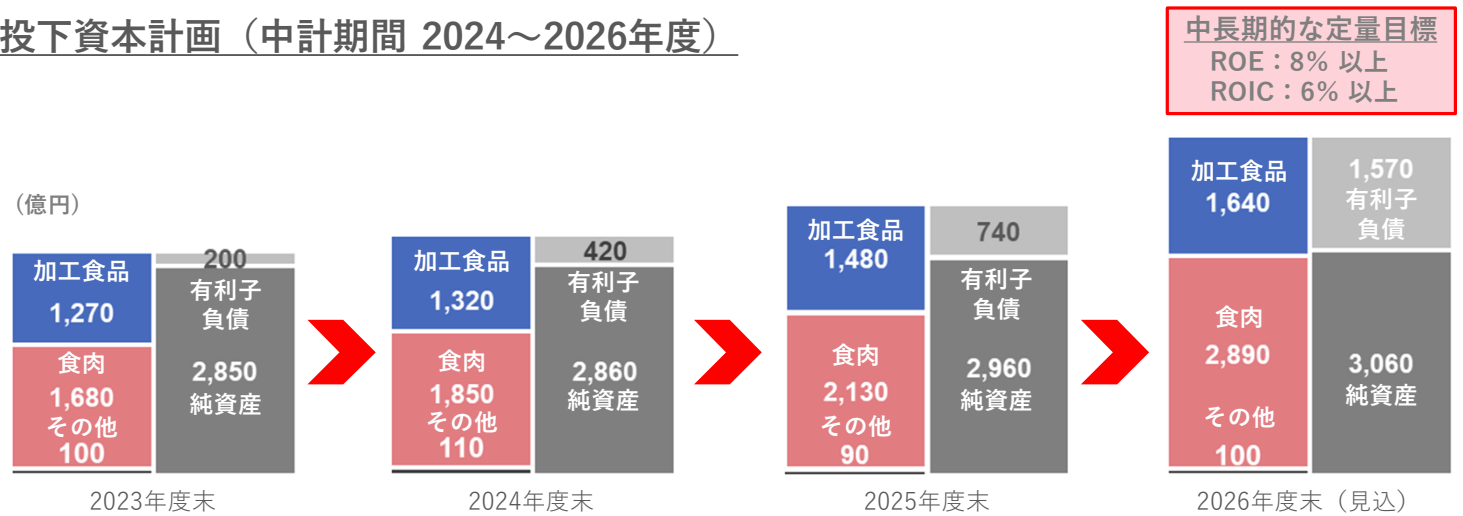
### キャピタルアロケーション

- ・ 財務レバレッジを活用し、成長投資と株主還元を強化
- ・ 加工食品における工場再編・省人化投資や食肉における運転資金負担の増加により投下資本は拡大
- ・ 収益基盤の強化を通じて、早期のROE8%・ROIC6%台への回復を目指す

### キャッシュフロー計画（中計期間 2024～2026年度累計）



### 投下資本計画（中計期間 2024～2026年度）



## ANZCO事業概要

- ANZCOは牛・羊処理販売事業を軸に、牛穀物肥育・加工品・ヘルスケア事業を行う
- ANZCOは牛肉・羊肉を米国・欧州・中国・日本をはじめとする世界80か国以上に販売、25年販売重量は牛肉8.1万t、羊肉4.4万t

### 会社概要

社名	ANZCO Foods Limited
事業内容	牛： 牛と畜・処理加工・販売 年間処理頭数37万頭 (NZシェア15%) NZ唯一の穀物牛肥育農場を保有
	羊： 羊と畜・処理加工・販売 年間処理頭数230万頭 (NZシェア11%)
	加工品： ビーフパティ・ジャーキー製造・販売
	ヘルスケア： 牛由来血液製剤等の製造・販売
本店所在地	Christchurch, New Zealand
設立	1984年
代表者	Peter W Conley, CEO
従業員数	3,000名
2025年度業績 (1-12月)	売上高 NZ\$ 2.1B / EBITDA 104M
	税前利益 55M / 純利益 40M

### 沿革

- 1984 ANZCO設立
- 1989 当社(伊藤ハム)とANZCOで穀物肥育牛事業設立
- 1994 カンタベリー工場取得
- 1995 **ANZCOに出資(48%)**、エルサム工場他取得
- 2003 ランギティキ工場建設、操業開始
- 2004 ワイタラ工場取得
- 2013 ヘルスケアビジネスを開始
- 2015 子会社化(48→65%)
- 2018 100%子会社化
- 2022 Moregate Biotech社(豪)の取得
- 2026 **Greenlea Group Limitedの取得**



お問合せ先

〒153-8587 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル  
伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 経営戦略部IR室  
電話：03-5723-6892

会社HPからもお問合せいただけます。

<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

本資料において掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。  
従いまして、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであることをご承知おきください。  
なお、本資料の情報は投資家の皆様に当社への理解を深めていただくことを目的とするものであり、投資勧誘を行うものではありません。  
また、掲載された内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等があった場合、さらにデータのダウンロード等によって障害が生じた場合に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。